

I 自己評価

1	学校教育目標	「至誠明朗」の校訓を体し、知・徳・体の調和のとれた創造的・人間性豊かな実践力のある地域社会人の育成を図る。	
2	評価する領域・分野	学校経営	
3	現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	保護者を対象とするアンケートにおいて「学校の教育方針や指導内容」「創造的・人間性豊かな生徒の育成」「健全な心身の育成」「マナーや規範意識の育成」の項目において、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせると93～99%の高い評価をいただいている。「学習指導」の項目において十分な評価が得られていない。知・徳・体の調和のとれた教育の実現に向けて指導の充実を図って参りたい。	
4	今年度の具体的かつ明確な重点目標	・組織と連携を大切にした教師集団 ・教科指導と部活動指導の両立 ・生徒の主体的学習態度の育成	・危機管理を意識した安全教育 ・商業教育・工業教育の推進 ・新教育課程を見据えた対応
5	重点目標を達成するための校内組織体制	・企画委員会 ・各学年会	・職員会議 ・各種委員会 ・各分掌会 ・商工専門部会
6	目標達成のための具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
	(1) 組織での対応・危機管理の徹底 (2) 研修等内外の活力を利用した授業改善 (3) 専門科に関する資格取得に向けての取組 (4) 進路行事の充実、外部模試の実施(進学希望者)、進路実現に向けての補習の充実 (5) 部活動、生徒指導等による人間形成	(1) 生徒及び保護者等を対象とするアンケート (2) 生徒の授業評価、生徒を対象とするアンケート (3) 資格取得数の状況 (4) 就職・進学状況及び生徒や保護者等を対象とするアンケート (5) 生徒及び保護者等を対象とするアンケート	
8	取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
	(1) 教育活動を教職員が組織で対応し、危機管理の徹底を図る。 (2) 研修会、研究授業、授業参観により授業改善を図るとともに、R-Timeの充実に努める。資格取得等に向けて授業、実習、補習及び工業・商業に関する部活動を充実させる。 (3) ガイダンス・外部講師の講演等の行事、進学に向けての補習を充実させる。 (4) 挨拶・マナーの励行と部活動の活性化に努める。	(1) 組織での対応、安全教育を適切に遂行することができたか。 (2) 基礎学力の定着を図るとともに資格取得数を多くすることができたか。 (3) 生徒の進路実現が図られているか。 (4) 基本的な生活習慣が身に付いているか。部活動が活発であるか。	A (B) C D A (B) C D (A) B C D (A) B C D
11	成果・課題	総合評価	
	○「Seki Shoko Company」を通じて、学校と地域が連携して活動することができた。 ○R-timeの定着・充実により、基礎学力の向上を図ることができた。大学進学を希望する生徒に対しては、商業科においては進学クラスにおいて、工業科においては進学グループにおいて、学力の向上を図るとともに、一人一人の進路希望に応じた指導を行い、進路実現に努めることができた。 ○基本的な生活習慣を身に付ける指導の徹底、資格・検定の取得、部活動の活性化を図り、魅力ある学校づくりにつとめることができた。 ●自ら課題を見つけ、周囲と連携・協力して主体的に課題解決に向かう力を養成する。	A (B) C D	
12	来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の連携を密にし、教職員が一体となって組織的に教育目標の実現に努める。 ・「Seki Shoko Company」の充実を図り、地域のニーズに応じた活動を展開する。 ・R-timeの授業化を継続し、生徒の基礎学力の定着・向上を図る。 ・業務の精選と効率化を図り、教職員の働き方改革を推進して、学校教育活動の活性化を図る。 	

II 学校関係者評価

実施年月日 令和元年1月22日

【意見・要望・評価等】 ・関商工高校の教育活動は、外部から見ても内部から見ても一定のレベルは超えている。定時制課程においても一人一人の生徒を大切にしていることがよく分かる。教育とは、自分で考えて行動できる自立した生徒を育てることであり、今後は、このことを柱に様々な教育活動に取り組んでいただきたい。 また、関市立ということから、小中学校、関市、地域の方々と連携することで、さらに、その強みを生かしていただきたい。
--